

# 奈良県感染症情報

平成 25 年 第 52 週(12 月 23 日～ 12 月 29 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## !! インフルエンザが流行の兆しをみせています !!

平成 25 年第 52 週(12 月 23 日(月)～12 月 29 日(日))における県内の一定点医療機関当たりのインフルエンザ患者の報告数は 0.97 と、ほぼ横ばいで推移しています。今後、本格的にインフルエンザの流行シーズンを迎えるものと考えられます。体調管理に注意し、予防に努めましょう。

### 今週の概要

■ 小児科外来情報

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.76	(8.29)	→	→	→	→
2	RS ウイルス感染症	2.15	(1.97)	↑	↑	↗	↑
3	水痘	1.44	(0.97)	↑	↗	↑	↑↑
4	インフルエンザ	0.98	(1.30)	↑	↑	↑	↘
5	咽頭結膜熱	0.62	(0.71)	→	↘	→	↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)  
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

### ◆ 県内概況 ◆

#### ◆ インフルエンザが流行シーズン入りしています。

《説明》 インフルエンザを予防するには、流行前のワクチン接種、飛沫感染対策としての咳エチケット、外出後の手洗い、適度の湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人混みや繁華街への外出を控える。

《参考》インフルエンザ Q&A (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

年末になったが、例年に比べ外来患者数は少ない。乳幼児では RS ウイルス感染症が多いが気管支炎まで増悪するものは少ない。水痘も保育園児を中心に流行しだした。感染性胃腸炎は幼児から成人までまんべんなくみられる。症状は軽症が多い。インフルエンザは当院では最近みられなくなっている。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は日によって変動あるがインフルエンザの流行が未だない分、例年より多くない状況。アデノ、またはインフルエンザを疑う咽頭発赤例が主、但しインフルエンザ陰性。RS 気管支炎、迅速陽性例が数例。感染性胃腸炎は嘔吐が主のノロ様例が流行中。ロタはない。A 群溶連菌感染症、水痘が流行中。インフルエンザは今冬まだ3例あったのみで、その後増加なし。

#### 南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザが増加している。大部分が A 型だが、B 型も混じっている。B 型のほうが咳が少ない印象がある。胃腸炎も依然として流行が続いている。幼児では水痘が多い。RS ウイルス感染や手足口病も数名受診した。



❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

